六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。そのプログラムの紹介や、山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（次回は２月５日に掲載）

自然素材の干支飾り登場

園内の広場に飾られたオブジェ。イノシシのファミリーはそれぞれにしぐさや表情が異なっていて面白い＝いずれも神戸市立森林植物園

まずはじめに、木の枝や竹を使って骨組みを作る。硬くとがった松の芯材を見つけた福本さん。牙にぴったりと直感したそうだ

いろいろな資料を見てスケッチを描き起こし、素材を決めていく

表情もリアルに再現されたオブジェ

寒さ厳しい季節だが、イノシシファミリーのオブジェに会いに森を訪れてみてはどうだろう。

神戸市立森林植物園は午前9時開園、午後5時まで（入園は午後4時半まで）。15歳以上300円、小・中学生150円。同植物園☎078・591・0253

神戸市立森林植物園（神戸市北区山田町上谷上）は、日本で唯一、森林をテーマにした植物園だ。六甲山の自然を生かした総面積142・6㌶の広大な敷地内に、約1200種の樹木を植栽、展示している。新年は、職員が園内の枝や植物を使って干支（えと）のオブジェを手作りするのが恒例行事。今年はイノシシのファミリーがお目見えした。

同植物園は日本の樹木のみならず、北アメリカ産樹林区、ヨーロッパ産樹林区、アジア産樹林区など世界各地の森の姿を演出する。あじさい園、しゃくなげ園、さくら園など季節ごとの花が観賞できるスポットもある。木々が葉を落とす冬場は、すっきりとした景観になって、違った魅力がある。

冬にできる自然素材を生かして作ったのが干支のオブジェ。園内の植物を知り尽くし、16年前に先輩職員が始めたのを引き継いだベテラン職員の福本市好さんが制作を担当した。

子どもの頃から工作が得意だったとか。年末が近づくと、いろいろな資料を見ながら構想を練る。リアリティーを持たせるために、骨格標本も参考にする。園内を巡りながら、「この木材はどんなふうに活用しようか」と考えたりもするそうだ。

イノシシは竹で骨格を作り、枯れたススキを集めて胴体に詰めた。松の硬い芯を牙に、ダイオウショウの枯れ葉で毛並みを表現。頭部はセコイアメスギの板、耳はシュロ、くりっと愛らしい目はトチの実。多彩な植物の特徴を熟知する福本さんならではの作品だ。

完成したオブジェは親子3頭。同植物園内の広場で出迎えてくれる。

森の木々が落葉する冬場は一見寂しく感じられるが、寒い中でよい香りを漂わせるロウバイや、冬空に映えるボケやツバキなど冬の花が咲く。ジョウビタキ、ルリビタキなどの冬鳥も訪れ、野鳥観察に適した季節だ。寒さに耐えながら、ひっそりと芽吹きの時を待っている冬芽の観察も楽しい。

ススキ、枯れ葉で3頭のイノシシ
神戸市立森林植物園

樹木のシルエットがくっきりと見える冬の森は、独特の風情が感じられる

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山シーズンガイド～秋・冬」など。

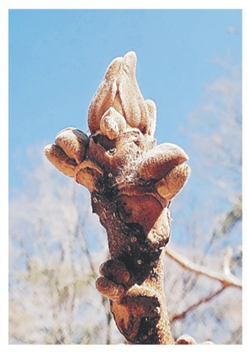
根岸真理が案内 山の四季便り

冬芽観察会と七草がゆ作り　来月11日

神戸市立森林植物園では2月11日に、「冬芽観察会と七草がゆ」を開く。

厳しい冬の寒さに耐えるため、いろいろな工夫をしている植物。樹木の冬芽に注目して、越冬の仕組みを観察する。また、「春の七草」について学んだうえで、実際に七草がゆを作って食べて温まる。

午前10時15分から午後1時まで。参加費無料（入園料、駐車料は別途）。事前申し込みが必要で、先着70人。申し込みはホームページ、またはファクス078・594・2324



この時期、園内の樹木で冬芽を観察できる＝神戸市立森林植物園

山小屋

青空主義
兵庫おでかけ情報

火 Tue イベント
水 Wed グルメ
木 Thu レジャー
金 Fri アート
土 Sat エンタメ

■情報のご提供は
FAX 078-360-5512
E-mail
aozora@kobe-np.co.jp

芸術学部

◆企画展「からくり人形の世界～オートマタの100年～」　1月11日～2月27日10～17時の毎時30分から15分間（最終受け付けは16時20分）、六甲オルゴールミュージアム（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「オルゴールミュージアム前」）。19世紀後半に、西洋で盛んに制作された「オートマタ（自動人形）」＝**写真**＝の紹介と実演がある。アンティークのほか、技術を受け継いだ職人の作品、からくりにオルガンが組み合わされた現代製など、歴史や仕組みを学べる。中学生以上1030円、4歳～小学生510円。六甲オルゴールミュージアム☎078・891・1284

◆ミントサロン「六甲山上の名建築を巡って」　1月31日19時～20時半、ミント神戸18階のミントテラス（ＪＲ「三ノ宮」駅）。講師は建築家の長尾健さん＝**写真**。明治以降のゴルフ場開発に伴って建設された六甲山上の建物は、その時々の時代背景が反映されている。自然と共生してきた建築の特徴を解説しながら、歴史をふり返る。講演後は講師を囲んでワインを楽しみながらの懇親会。先着50人。500円。住所、名前、電話番号、年齢、性別を明記しメール（mintsalon@kobe‐np.co.jp）かファクス（078・360・5514）で六甲山大学事務局ミントサロン係へ申し込む。同事務局（神戸新聞地域創造内）☎078・362・2983

環境学部

◆自然観察会「振り向いて、神戸の街を眺める！」　1月13日９時半～15時頃、阪急「岡本」駅集合。ハイキングマップに載っていないマニアだけが知る安全で、東神戸を一望できるコースをゆっくり歩き自然観察を楽しむ。パワースポットとして人気の保久良神社も訪ねる。参加費300円。予約不要。対象は小学３年生以上。六甲山自然案内人の会の中島さん☎090・8983・7777（18～20時）

◆「氷の切り出し」＆「氷室」の特別一般公開　1月20日10～14時、自然体感展望台・六甲枝垂れ（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「六甲ガーデンテラス」）。展望台東側の「氷棚」に雨水をためて冬の間にできた天然の氷を、のこぎりなどで切り出し展望台内部の「氷室」に貯蔵する作業を見学できる＝**写真**。中学生以上300円、４歳～小学生200円。六甲ガーデンテラス☎078・894・2281

◆「冬の寒さに耐える植物の知恵とは？」　2月10日９時半～14時半、県立六甲山ビジターセンター（六甲ケーブル「六甲山上」駅からバス「記念碑台」）。六甲山自然案内人の会のスタッフとビジターセンター周辺の林間コースに出て、樹木や草の姿を観察。その後、飲み物を味わいながら学んだことを話題にホットカフェ座談会をする。自然の材料を使っての凧や鳥の巣箱などの工作も。要予約。先着30人。電話などで申し込む。六甲山自然案内人の会の香西さん☎090・1441・9658

◆六甲山のエキスパート養成自然観察講座・受講生募集　4月27日～12月８日。県立六甲山ビジターセンター（六甲ケーブル「六甲山上」駅からバス「記念碑台」）ほか。自然観察を通して六甲山の特徴を学び、自然を愛する心を養う。自然のよさを人々に伝える仲間をつくることを目的とする。受講料年間１万5000円（９講座）。３月31日までに六甲山自然案内人のホームページから申し込む。先着30人。六甲山自然案内人の会の堂瀬さん☎078・792・3734

総合学部

◆とんどやき　1月13日10時半～12時半、神戸市立森林植物園（神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス）。１年の無病息災などを願ってお焚き上げをする。書き初めを持参すれば一緒に燃やして字の上達を祈願できる。豚汁や弓削牧場特製の牛乳のふるまいなども。当日は入園料、駐車料無料。荒天中止（中止の場合は８時半にホームページで発表）。同園☎078・591・0253

◆初心者のための冬山体験イベント「冬山を学ぼう！歩こう！」　２月２日10時半、県立六甲山ビジターセンター集合（六甲ケーブル「六甲山上」駅からバス「記念碑台」）。講師は県山岳連盟のスタッフ。午前は冬山の心得やアイゼンを装着した歩行、体が温まる食事などを指導する。午後はスタッフの案内で周辺のハイキングコースを歩きながら、冬芽の観察、冬山の眺望などを楽しむ。アイゼン、白湯、飲み物、昼食（お湯で作れるみそ汁、スープ、カップ麺など）、雨具、防寒具など持参。先着20人。無料。参加者全員の氏名、性別、年齢、代表者の住所、電話番号、メールアドレス、「２月２日冬山イベント参加希望」と明記し、１月18日までにファクス（078・361・8589）などで神戸県民センター県民交流室冬山イベント係へ申し込む。雨天時は２月９日に順延。同係☎078・361・8645（平日９～17時）

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

六甲大学 ROKKO-SAN DAIGAKU
六甲山大学・情報凝縮サイト
653daigaku.com

わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています

協賛企業

領域をこえ 未来へ OJI
ひとの ときを、想う。 JT
Daiwa House
想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA

順不同

【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　E-MAIL:info-653@kobe-np.co.jp